

第19回 津波予測技術に関する勉強会

議 事 次 第

日 時：令和4年2月14日（月）

13時30分～16時30分

場 所：ウェブ会議

1. 開 会

2. 議 題

1. 本勉強会での検討課題について
2. 今般の噴火での気象庁の対応について
3. 今般の噴火で観測された気圧、潮位の変化について
4. 様々な現象に伴う潮位変化について
5. 火山噴火に伴う空振、津波について
6. 今般の噴火に関する調査結果について
7. 今回の議論のまとめ

3. 閉 会

（配布資料）

資料1 フンガ・トンガ-フンガ・ハアパイ火山の噴火による潮位変化を受けた検討課題について

資料2 フンガ・トンガ-フンガ・ハアパイ火山の噴火時における気象庁の対応、今後の当面の対応について

資料3-1 フンガ・トンガ-フンガ・ハアパイ火山の噴火で観測された気圧、潮位変化について

資料3-2 防災科学技術研究所海底観測網に見られるトンガ火山噴火に伴う水圧変動（鈴木委員提供資料）

資料4-1 気象現象に伴う潮位変化について（高野委員提供資料）

資料4-2 「火山性津波」の様々な波源メカニズム（林委員提供資料）

資料4-3 気圧波と海洋波との共鳴的カップリングのメカニズム（日比谷委員提供資料）

資料5-1 火山噴火と圧力波の関係について（市原委員提供資料）

資料5-2 1883 クラカタウ火山噴火津波（東京大学地震研究所 綿田准教授提供資料）

資料6-1 潮位変化の再現実験について（高野委員提供資料）

資料6-2 2022年トンガ噴火による津波の解析（谷岡委員提供資料）

資料6-3 フンガ・トンガ-フンガ・ハアパイ火山の大規模噴火に伴う海面変動について（高川委員提供資料）

資料6-4 トンガ噴火で発生した空振の伝播と海面変動の増幅（田中委員提供資料）

資料6-5 2022年トンガ火山噴火による津波の発生（齊藤委員提供資料）

資料6-6 2022年1月15日トンガ噴火に伴う津波のシミュレーション（佐竹委員提供資料）

津波予測技術に関する勉強会 委員名簿（○：座長）

（敬称略、五十音順）

市原 美恵	東京大学 地震研究所 准教授
今村 文彦	東北大学 災害科学国際研究所 所長
高野 洋雄	気象研究所 全球大気海洋研究部 第五研究室 室長
越村 俊一	東北大学 災害科学国際研究所 教授
齊藤 竜彦	国立研究開発法人 防災科学技術研究所 地震津波防災研究部門 主任研究員
○佐竹 健治	東京大学 地震研究所 教授
鈴木 亘	国立研究開発法人 防災科学技術研究所 地震津波火山ネットワークセンター 主任研究員
高川 智博	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 沿岸水工研究領域 津波高潮研究グループ グループ長
田中 健路	広島工業大学 環境学部 地球環境学科 教授
谷岡 勇市郎	北海道大学 大学院理学研究院 附属地震火山研究観測センター 教授
都司 嘉宣	合同会社 地震津波防災戦略研究所 所長
林 豊	気象研究所 地震津波研究部 第四研究室 室長
日比谷 紀之	東京大学 大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻 教授
前野 深	東京大学 地震研究所 准教授